

種名	ケキツネノボタン Ranunculus cantoniensis 				
	分類	被子植物双子葉植物綱キンポウゲ科	俗称		生活型 多年草
分布	本州、四国、九州に分布する。				
形態	茎は直立し、高さ 30～80cm となり、上部で分枝する。葉や葉柄には粗い毛が開出する。根出葉は 1 回 3 出複葉で、長柄があり、小葉は卵形、または広卵形でキツネノボタンよりも幅が狭い。				
類似種	キツネノボタン				
生息場所	暖帯から亜熱帯の田や畔、水路沿いなどの日当たりの良い湿地に生える。				
繁殖	花は 3～7 月に咲き、光沢のある黄色で径 1cm。萼片は反曲し、卵形。花弁は楕円形、または長楕円形で萼片よりやや長い。集合果は球形。瘦果は倒卵状円形で、先端はほとんど反曲しない。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他					
引用文献：『世界文化生物大図鑑 植物Ⅰ 双子葉植物』を改変					